

週刊

愛知民報

2022年
10月16日
第2606号

発行所 **愛知民報社**

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

日本共産党 県議空白克服へ 豊橋・名古屋で大演説会

10月26日(水)午後5時半
名古屋駅東口

10月19日(水)午後5時半
豊橋駅東口ココラフロント前



県議予定候補(名古屋市西区)

わしの恵子

書記局長来る!!

小池 晃



県議予定候補(豊橋市区)

しもおく奈歩

委員長来る!!

志位和夫

日本共産党は、来年春の統一地方選勝利に向けた全国遊説を愛知からスタートさせます。19日に志位和夫委員長が豊橋市で、小池晃書記局長が名古屋市で街頭演説します。これは同党の第6回中央委員会総会(8月1、2日)で掲げた、「道府県議選で、空白県(愛知)を克服し、新たな議席空白を絶対につくらず、全都道府県で議席をもつ」方針に基づくものです。同党愛知県委員会は、演説会を党勢拡大の「特別期間」成功への節にも定め、党員、後援会員、支持者への案内をしています。

「特別期間」成功の節に

潮目変わる

演説会は、岸田政権があらゆる分野で危機とゆきづまりに陥るとともに、市民的・国民的運動のあらたなうねりがわき起り、政治の潮目が大きく変わるなかで開かれます。志位委員長、小池書記局長を先頭にした国会論戦で、日本共産党への新たな注目も広がっています。この演説会の成功は、岸田自公政権ノ一の県民の意思と、県議空白を克服する愛知共産党の決意を示すものになります。

同時に補完勢力でありながら、自公政権の批判の受け皿となつてわが党の議席獲得を阻んできた減税・維新の実態を広く県民に知らせていき、県議選・党躍進の流れをつくるものになります。その点で9月25日投票の南区補選で、日本共産党の高橋ゆうすけ候補の得票が減税・維

目標掲げて

共産党県委員会は、県議必勝区の、西区と豊橋の党員と支部、後援会、東三地区党、名古屋市の総決起を呼びかけています。志位委員長、小池書記局長が、100周年記念講演会の内容と、はじまった国会論戦をふまえて、愛知で県議を回復することの意義、情勢と日本共産党の役割について縦横に語りま

9月27日の県委員会総会ではオルグ(宣伝組織者)派遣など、全県の力の集をおこなう方針を決めました。

同党県委員会は、「豊橋800人、名古屋